

活動実施計画書

団体名：植田東学区連絡協議会

1 都市マスとの関連性（A～H、1～3をそれぞれ選択して記入してください。）

【A-①】地域特性に応じた居住・自然環境の形成

土地区画整理事業により基盤が整備された地区における良好な居住環境の維持・形成のためには、2015 年 2 月に策定した植田東学区の将来像実現に向けそこに住む人々のつながりづくりが重要であり、その核となるコミュニティセンター整備を住民参加で進める。

【C-①】災害につよいまちづくり

植田東学区地区防災計画 2030 に基づき、街の備えを進めるために住民の防災意識の向上は不可欠である。これまで指定避難所が学区の西端にあり、東側住民の不安があったがコミュニティセンターが整備されることで、身近な所に防災拠点ができ、より防災意識の向上につながり、自主的な防災・減災活動の発展を促していく。

2 活動対象地域の概要

所 在	名古屋市天白区植田東学区
面 積	79.6ha
特 性 ・ 資 源	学区の 97%(国道・河川除く)が土地区画整理により基盤整備され、宅地化された住宅に特化した市街地である。学区創設から 17 年経ったがコミュニティセンターがなく、学区西端の小学校で地域活動を行っている。天白川を除くと特に地域資源はなく、住民が地域資源と考えている。
現 況 ・ 課 題	徐々に高齢化が進み、学区東側から小学校まで行けない人が増加しており、学区東側の活動拠点整備が求められていた。 このたび、学区の東側にコミュニティセンターができることになったが、地域活動および防災の拠点として使いやすく、住民に親しまれるコミュニティセンターづくりを住民参加で進めていくことが重要である。

3 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

2009 年度に 2 つの学区の一部が一緒になり植田東学区が創設されたため当初はつながりづくりの運動会や夏祭りに力を入れた。2012 年に住民アンケートを行い、交通、防犯、環境という 3 課題が浮き彫りになった。2014、2015 年度に地域まちづくり助成を受けて交通課題改善のための調査および学区将来像、交通計画づくりを実施した。2016、2017 年度で道路整備を終え改善効果も確認できた。2020 年度に組織基盤強化助成を受け ICT 活用検討を実施、2021 年度に地区防災計画を策定し防災活動にも重点を置いている。こうした活動を通じて、人々のつながりづくりを進め、夏祭りは 2500 人規模の行事になり、学区運営に関わる人も 90 人程になっている。

※この様式は公開されます。

4 助成を受けようとする活動の目的

今回、コミュニティセンターは規模が決められているが、予算の範囲で間取りなどは住民意見を取り入れて設計することが可能である。植田東学区のコミュニティセンターの擁壁設計は 2027 年度と聞いているため、それに先立って、時間をかけて地域からの提案を行いたいと考えている。

そのため、住民の要望を建築の形にまとめる部分で専門家の力を借りたいと考え、名古屋都市センターの活動助成を申請する。

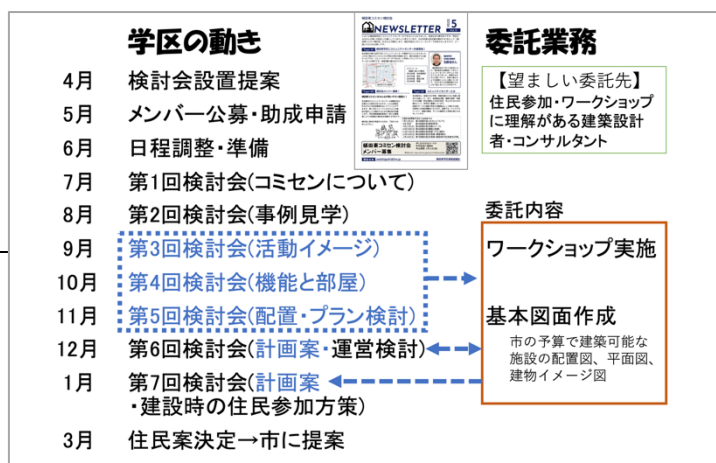
5 助成を受けようとする今年度の活動およびコンサルタントへの委託業務内容（役割分担）

<団体>

- ・コミュニティセンター整備を検討する検討会の設置、運営
- ・行政との調整
- ・地域住民への PR

<コンサルタント>

- ・施設整備内容についての住民意見把握ワークショップ実施
- ・施設提案図の作成(配置、平面、整備イメージ)



6 今年度の活動実施の際に協力・調整等が必要となる関係者等

- ・行政(天白区役所地域力推進課、スポーツ市民局地域振興課)
- ・学区内各団体

7 今年度の活動内容のスケジュール

月	活動内容	詳 細
4	検討会設置提案	4 月の学区連絡協議会で検討会を設置して進めるスケジュールを確認、委託予定業者と調整
5	メンバー公募 助成申請	検討会のメンバーの一部の公募委員を募集 名古屋都市センターへの助成申請
6	行政等との日程調整 検討会準備	行政(区役所、地域振興課)と日程、協力内容を調整 第 1 回、第 2 回検討会の準備
7	第 1 回検討会	コミセンについての理解を深める
8	第 2 回検討会	ニュースレター1 発行 コミセンの使い方募集 事例見学
9	第 3 回検討会	活動イメージの検討 ニュースレター2 発行
10	第 4 回検討会	コミセンの機能と部屋を検討 ニュースレター3 発行
11	第 5 回検討会	配置・プラン検討 ニュースレター4 発行
12	第 6 回検討会	計画案 について議論、運営方法検討 ニュースレター5 発行
1	第 7 回検討会	最終計画案 確認、建設段階での住民参加検討 ニュースレター6 発行
2	リーフレット検討	ニュースレター7 発行(計画案の周知)
3	住民案決定 名古屋市へ提案	学区連絡協議会で住民案決定、リーフレット作成

※太字部分が助成による委託部分

※この様式は公開されます。

8 （構想策定・事業化検討）の想定プロセスと（構想策定後・事業化実現まで）の展望

名古屋市によると、順調に進むとして、

2027 年度 擁壁設計

2028 年度 擁壁工事・建物設計

2029 年度 建設工事

2030 年度 開館

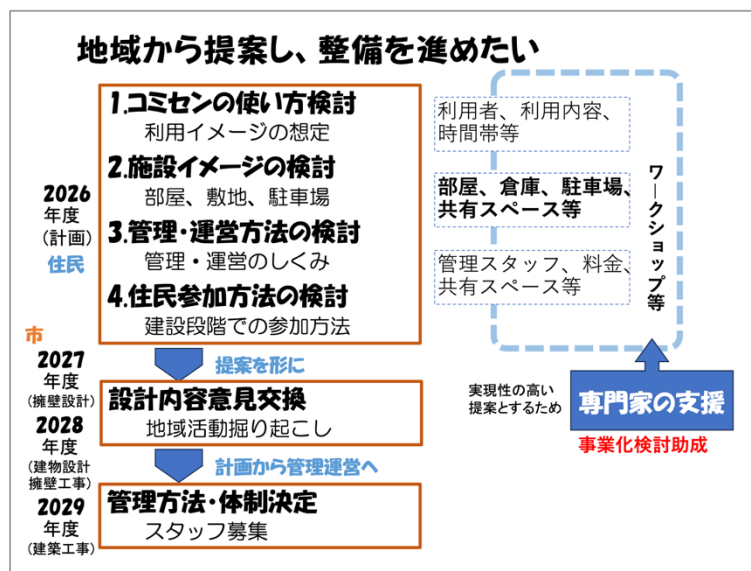
となる。

そのため、

2027 年度の擁壁設計及び
2028 年度の建物設計に向け、
2026 年度に住民による検討
を行い地域の声の設計への
反映を目指す。

住民による施設内容検討は、
施設の使い方の具体化につな
がり、学区活動の広がり
が期待される。

また、施設計画段階から住民議論を行うことで、管理運営に対する意識も生まれ、この活動が指定管理者として施設管理を行うための基盤作りにつながることを期待している。



※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、4 ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※この様式は公開されます。